



# ふれあい・助け合い・私たち地球市民 ～心は世界を結ぶ～

報告者 兵庫県たつの市立半田小学校 金田武史先生・野崎大輔先生

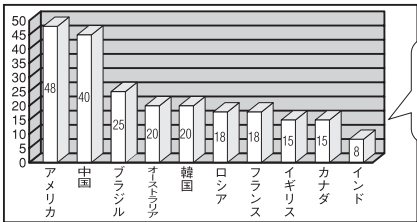
## ポイント

たつの市立半田小学校は六年生において総合的な学習の時間で「国際理解」を中心に据えたカリキュラムを組んでいる。本年度の活動としてまず、世界の国々について調べたり、外国の方との交流や外国の文化の体験をしたりすることを通して多様な文化の違いについて感じ取らせ、世界の国々に興味を持たせた。そして、青年海外協力隊帰国隊員の方をゲストティーチャーに招き、参加動機や思い、現地での活動内容や現状などを直接聞くことにより、世界の状況や世界の子ども達の現状に目を向けさせ、世界のために力を尽くそうと努力している日本人や団体の存在に気づかせた。そこから、発展途上国の子ども達の現状を課題別グループに分かれて調べさせ、貧困や戦争・紛争に巻き込まれて家族や家を失ったり、傷ついたりしている子ども達を知ること、人としての権利や命の重さについて考えさせた。そして、自分自身ができることを考え、実践することでより豊かな人権感覚と多文化共生の心を培っていった。

### ■第一次 世界の国々を知ろう

【世界にはどんな国があるの?】

【兵庫県立大学留学生の方と交流を深めよう】



あなたは世界の国々でどんな国を知っていますか。



民族楽器「馬頭琴」で奏でられるメロディーがとてもきれいでした。

年末には学校行事の「餅つき集会」に来ていただき、一緒に餅つきをしました。



### ■第二次 世界の子ども達の様子を知ろう

【開発途上国ってどんな国だろう】

【開発途上国の子ども達の様子を知ろう】

「世界子供白書」「地球のともだちユニセフワークブック」等を活用しながら開発途上国の現状を知り、その後ユニセフビデオ「世界の12歳」を鑑賞し、それらの国の同年代の子ども達の生活の様子を大まかに掴んだ。



【課題別グループ】  
・児童労働キックアウト  
・世界の絆へ行ってQ  
・作ろう！地雷のない大地  
・私たちに未来をください  
…などの合計12グループで活動を進めた。

参観日に課題別グループ発表会を開きました。



ユニセフから地雷や水瓶などをお借りし展示しました。

【子どもの権利条約について知ろう】

【青年海外協力隊帰国隊員の方と交流をしよう】



「子どもの権利条約カード」を活用し子どもの権利について学習した。

「世界の子ども達のために私たちはどんなことができますか。」

「皆さんにできることは、まず事実を知ることです。そして、知ったことや感じたことを家族や友達に伝えてください。」



少数の豊かな国の人々が食べきれないほどの食料と水を所有しています。貧しい国の人々は、ほんの少ししか手にすることができません。

### ■第三次 今、私たちにできることを考え、実行し、発信しよう

【私たちにどんなことができるだろうか】



参観日に「私たち地球市民新聞」を配り、保護者や地域の方々に協力を訴えました。



ペーパーアートをを使って一年生に開発途上国の子ども達の様子を知らせました。



戦争反対を訴えるメッセージボードを持ってパチリ!!ミリオニフェイスクャンペーンへ協力しました。



フィリピンの子供達に私たちの思いを込めて文房具を送りました。

【私たちにできること】  
「周りの人へ世界の子ども達の様子を知らせる広報活動」「ベルマーク、グリーンマークを集めて開発途上国への援助」「インクカートリッジを回収して地雷撤去費用」「顔写真を送って戦争反対」「文房具やノートを世界の子ども達へ」など、募金以外にも自分たちにできることがたくさんあることに気づき、取り組んだ。